

第五話 「種を育むもの。」

クルミド出版で制作中の本、もう1冊は「やがて森になる」――著者は小谷ふみ（こたに・ふみ）さんです。詩のようなエッセイのような…、をまとめた本です。

「あなたの中に『あなた』はいますか？」

そう問われた小谷さんの『わたし』の種は、受け取る人を探すかのように、あらゆる方角に言の葉を発し始めます。でもそれは、ときに痛く、切なく、哀しみのオーラをまといています。それは小谷さんの「生」が少し傷ついてしまったからでしょうか。でもそうした渦中にも、日々ささやかな幸福とおかしみを見出すことのできる小谷さんの感受性と強さは、自身を思わぬところへと導きます。それは新しく、懐かしい場所でした。

「人と触れ合うことは、美しいことばかりではない。傷つくし、傷つけるし、痛い思いもたくさんする。けれど、それを恐れず、諦めず、そっと手を伸ばして欲しい。」

種は芽を出し、木になり、実をつけ、やがて森になります。

（影山知明）